

大皇太后御

十日、癸卯、天陰、

十一日、甲辰、天晴、

後三條院
通記

十二日、乙巳、天晴、

十三日、丙午、天陰、

十四日、丁未、天晴、易物忌也、

自十五日至于十九日、無御日記、

廿日、癸丑、天晴、東方發中、中風云々、小雨降云々、

廿一日、甲寅、天晴、

師通祇園吉田
賀茂社ニ詣テ

廿二日、乙卯、〔先〕「精進間詣所之事」天陰、東方東風度、小雨降、祇園所詣奉幣也、次吉田・賀茂下・上參、〔列限力〕限剋已剋、

還申剋許也、

廿三日、丙辰、天晴、中風吹、世人爲恠云々、

廿四日、丁巳、天晴、

廿五日、戊午、天晴、

廿六日、己未、天晴、易物忌也、

(27張)

廿七日、庚申、天晴、被立幣三社、〔松尾・大原野・梅宮〕辰剋立使云々、〔安倍〕松尾・梅宮同使、俊清朝臣、大原野

同三社奉幣

(藤原) 宗仲、參間二町許、御社後方鹿四具現在、

裏書、神主安任五位人也、(殿アラン) 件令申神妙云々、

廿八日、辛酉、天晴、

廿九日、壬戌、(米)道次參春日否事 天晴、攝政殿御使盛長朝臣到來、仰云、春日參詣事如何、入道殿笠置御詣、殿

候由被仰也、見入道殿御記、春日詣未見、追可侍也、

裏書、來月廿八日、出門日、當物忌候、可何樣候、殿下仰事、春日行幸日、雖當御物忌、件被行云

(米)出門間卜事 付行幸例、陰陽師道言朝臣許、以人可申遣、可令卜云々、占無咎云々、

卅日、癸亥、天晴、易物忌也、(資茂) 民部卿門外到來、日來依憚思給、遲參之由被侍云々、(傳カ) 承畢、過物

忌之後、世間念々不候日、光臨事如何、承畢、西風吹、黃昏雨降、

校合了、盛榮